

ものづくりの裏側

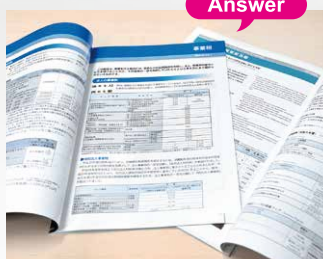
2025.4

vol.01



Q「エディトリアルデザイン」って何ですか？

広報誌や書籍、記念誌などのページものをデザインする仕事です。文字や写真を整理し、統一感のあるレイアウトで、読みやすく仕上げます。ページ数が多いため、作業の正確さとスピードも求められます。



Answer

Qどんなソフトを使うのですか？



Answer

ページもののデザインには「InDesign（インデザイン）」を使用します。最初にフォーマットを作成し、テキストを流し込んで複数のページを作っていきます。ページ数が多くても効率よく作成・管理できるのが特徴です。

Q イメージ通りのデザインに仕上げてもらうには？

参考になる見本があると、仕上りのイメージを正確に把握でき、ご希望に沿ったデザインを提案しやすくなります。文字だけの出版物でも、文字サイズや行間の違いで印象が変わるため、イメージに近い見本があるとスムーズです。



Answer

Q作業で難しいところは？



Answer

決まったスペースに対して文章量が多かったり、少なかったりする原稿の場合、調整が難しいです。フォントの細かな調整や挿絵の活用など、試行錯誤しながら見た目を整えるのでとても時間がかかります。

株式会社マルニ
工務部制作課
S.A.



工務部制作課
S.A. (2020年入社)

制作課で印刷物のデザインやデータ作成に携わる。オンデマンド印刷の出力や刷版作業も担当。色づかいのバランスとセンスに優れ、明るくはっきりした印象のデザインを得意とする。

Interview 01

ものづくりの裏側で考えていることは？

自己研鑽で 「余白」の使い方を研究

デザインの自己研鑽として、「余白」の研究をしています。もともと余白の使い方が苦手で、指摘されることも多く、自分でも課題だと感じていました。そこで、無駄のない美しい余白を作れるようになりたいと思い、昨年から学び始めました。書籍を読んだり、専門サイトで調べたりしながら、得た知識をレポートにまとめています。余白には、単なる空間ではなく、可読性の向上や視線誘導の役割があると知り、その奥深さに驚きました。例えば、紙面の上部はゆったり、下部には情報を詰めてもよい、目立たせたい部分には余白を多く取るなど、多くのセオリーがあります。最近の案件では、学んだことを活かして余白を意識したところ、すっきりとまとまり、お客様から一回でOKをいただきました。引き続き、余白の研究を深め、より良いデザインを追求していきます。

紙の魅力は 「手ざわりを楽しめる」ところ

私は、紙の質感や手ざわりが好きです。もともと本を読むのが好きで、電子書籍も便利ですが、やはり紙の本を手元に置きたくなります。ページをめくる感覚や読んだ後の達成感、紙のにおいやペラペラという音は、電子では味わえない魅力です。

ざらざらとした質感の紙が好きで、おすすめは「ヴァンヌーボ」。ほどよい凹凸があり、温かみのある手ざわりが心地よいです。印刷すると独特の風合いが出て、上質な仕上がりになるのも魅力のひとつです。

会社で製品見本を手にとると、普段はデザインデータとして見ているものが、紙質によって印象が変わることに気づきます。それが面白く、紙の持つ力を実感します。データ納品の案件も増えていますが、やはり印刷物として仕上がるとうれしいですね。

あなたの「作りたい」を お手伝い！

〔印刷物〕

- 会報・広報誌
- 冊子・パンフレット
- チラシ
- フライヤー
- ポスター
- 名刺・カード
- はがき・圧着はがき
- 封筒
- 伝票・帳票
- 商品券
- 記念誌
- 情報誌
- 偽造防止印刷
- 自費出版

〔デジタル制作〕

- ウェブサイト
- SNS 広告

〔屋外広告〕

- 看板・サイン
- のぼり・横断幕

〔ノベルティ〕

- オリジナルメモ帳
- オリジナルノート
- カレンダー
- クリアファイル
- ふせん・シール
- うちわ

〔パッケージ〕

- 紙箱
- 包装紙・紙袋
- ビニールバッグ
- エコバッグ

〔各種サービス〕

- 編集・原稿作成
- 写真撮影
- イラスト作成
- ロゴ作成
- 仕分け・配送
- 宛名印字
- 封入封緘
- アンケート集計

